

図書館通信 10

平成30年10月9日発行

豊穰祭だよ！

全員集合！

10/16(火)～10/26(金)の期間は“豊穰祭-秋の読書週間-”です。期間中には朝読書を行いますので、忘れずに読む本を準備しましょう。

他にも次のとおり、各種企画を用意しています。読書の秋、存分に図書館を活用してください。



朝読書 10/16(火)～10/26(金) 8:35～8:50

※最終日には、クリティカルシートを記入します。

〈特別貸出キャンペーン〉

10/11(木)貸出分より1人5冊まで貸出OK!



図書委員展示&「読書はパワー」

図書館では、図書委員がおすすめする本とその紹介POPとともに展示します。期間限定発行の「読書はパワー」では、先生方がおすすめする本を紹介します。本を選ぶ参考にしてくださいね。

くじ引き企画

期間中、図書館で本を借りた人は1日1回くじが引けます！非日常のスリルと超豪華景品がみなさんを待っていますよ。※無くなり次第、終了します。



ブックトーク

学校司書セレクト・高校生に読んでみてほしい本をテーマに沿って、何冊か紹介します。

日時：10/16(火)13:10～13:20

テーマ：「出会いとその後に強くなる」

人気ポスター争奪！じゃんけん大会

上半期に掲示した、人気ポスターの争奪戦を開催します。ラインナップは、ぜひ当日見に来てみてください。

日時：10/22(月)13:10～13:20

11月1日(木)放課後 図書館教養講座

学校内外から講師をお招きしてお話を伺う、図書館教養講座。

今年度はながい文教の杜職員の池田 将友(いけだ まさとも)さんを講師にお迎えします。

池田さんは本校卒業生で『弁当男子』の著作があります。『弁当男子』出版の経緯や南陽高校時代のエピソードをはじめ、貴重なお話が聞ける機会です。地元で働きたい人や芸術・文化に関わる仕事に興味がある人をはじめ、たくさんのご参加をお待ちしています。

開講日時：11月1日(木)15:50～16:50 場所：本校図書館



豊穡祭ディスプレイ

今月の図書館前ディスプレイには、朝読書におすすめの本を集めています

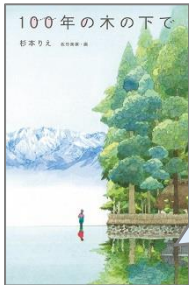
右側には、館内からセレクトした「5分後シリーズ」「ベネッセ小論文推薦図書」を、左側には新着図書(「ベネッセ小論文推薦図書」「読書感想画コンクール指定図書」を含む)を展示しています。すべて貸出できますので、気になる本があったら、司書まで声を掛けてくださいね。



ベネッセ小論文推薦図書は、ほぼ全て揃っています。レッツ・トライ！

読書感想画指定図書が入りました！

9月号でお知らせした、「第30回読書感想画コンクール」の指定図書(中学校・高等学校の部)が入りました。図書館前ディスプレイに展示しています。



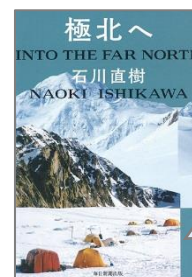
『100年の木の下で』
杉本りえ著、ポプラ社
大きな栗の木と小さなお地蔵さんが見守った、5世代100年の家族の物語。



『ヒトラーと暮らした少年』
ジョン・ボイン著、あすなる書房
少年が暮らす山荘に時折訪れるヒトラー。憧れはやがて、少年を変えていく…。



『キツネのバックス』
サラ・ペニーパッカー著、評論社
戦争に引き裂かれた少年と子ギツネは、再会を夢見てお互いを捜し始める…。



『極北へ』
石川直樹著、毎日新聞出版
写真家の著者が、自らの原点となった北極圏とその周辺地域について綴ったエッセイ。



『正義の声は消えない』
ラッセル・フリードマン著、汐文社
反ナチス・「白バラ」抵抗運動を続け、若くして処刑された学生たちを追った実話。

自由図書での応募もできます。挑戦してみたい人は、司書もしくは美術・武田先生までご相談ください。

校内〆切は12月10日(月)です。

新着図書からこんにちは



『はたらく細胞』(1)～(5) 清水菡著、講談社、491/シ/1～5
赤血球さんや白血球さんをはじめ、さまざまな体内細胞の人知れぬ活躍を描いた、話題の“細胞擬人化漫画”。「生物がもっと好きになる!」「これも学習マンガだよ!」そんな力強いリクエストにお答えして、とうとう南陽高校にも上陸を果たしました。人の体は小宇宙。





★…ベネッセ小論文推薦図書、☆…読書感想画コンクール指定図書

【1類】哲学

- ★『わかりやすいはわかりにくい?』 鷲田清一【著】、筑摩書房、104/ワ/
- ★『「待つ」ということ』 鷲田清一【著】、角川学芸出版、104/ワ/

【2類】歴史

- ☆『正義の声は消えない：反ナチス白バラ抵抗運動の学生たち』
ラッセル・フリードマン【著】、渋谷弘子【訳】、汐文社、234/フ/
- ☆『極北へ』 石川直樹【著】、毎日新聞出版、297/イ/



劇作家の平田オリザ氏が
コミュニケーションの本質
に迫る。



【3類】社会科学

- 『日本で1日に起きていることを調べてみた』 宇田川勝司【著】、ベレ出版、302/ウ/
- 『「明治礼賛」の正体』 斎藤貴男【著】、岩波書店、312/サ/
- 『統計学が最強の学問である』 西内啓【著】、ダイヤモンド社、350/ニ/
- 『くらべる日本 東西南北』 おかべたかし【著】、山出高士【写真】、東京書籍、361/オ/
- ★『わかりあえないことから：コミュニケーション能力とは何か』
平田オリザ【著】、講談社、361/ヒ/
- 『科学的に人間関係をよくする方法』 堀田秀吾【著】、KADOKAWA、361/ホ/
- 『コンビニ外国人』 芹澤健介【著】、新潮社、366/セ/
- 『女子のための「手に職」図鑑：一生困らない』 華井由利奈【著】、光文社、366/ハ/
- ★『弱者の居場所がない社会』 阿部彩【著】、講談社、368/ア/
- 『ヤングケアラー』 澁谷智子【著】、中央公論新社、369/シ/
- ★『本当は怖い小学一年生』 汐見稔幸【著】、ポプラ社、376/シ/
- 『辺野古に基地はつぐれない』 山城博治、北上田毅、岩波書店、395/ヤ/



【4類】自然科学

- 『「電波と光」のことが一冊でまるごとわかる』 井上伸雄【著】、ベレ出版、427/イ/
- 『「生物」のことが一冊でまるごとわかる』 大石正道【著】、ベレ出版、460/オ/
- 『大堀先生 高校生物をわかりやすく教えてください!』
：細胞・遺伝・生殖・発生』 大堀求、学研プラス、460/オ/
- 『はたらく細胞』 (1)~(5)、清水茜【著】、講談社、491/シ/1~5
- 『脳が認める最強の集中力』 林成之【著】、SBクリエイティブ、491/ハ/
- 『持続可能な医療』 広井良典【著】、筑摩書房、498/ヒ/



【5類】技術

- 『スラスラわかるネットワーク&TCP/IPのきほん 第2版』
リブワークス【著】、SBクリエイティブ、547/リ/

現職者のリアルな声から、
様々な職種の現状を
解説した一冊。

【6類】産 業

『明治日本の産業革命遺産』岡田晃【著】，集英社，602/オ/

チョークに秘められた無限の可能性と全国の高校生たちのエネルギーが花開く、それが“黑板アート甲子園”の世界！

【7類】芸 術

『黑板アート甲子園作品集：高校生たちの消えない想い』，

日東書院，723/ニ/

『12か月のねこ切り絵』高木亮【著】，誠文堂新光社，726/タ/

『みえるとかみえないとか』ヨシタケシンスケ【著】，アリス館，726/ヨ/

『マンガで教養はじめてのクラシック』

I K E【画】，朝日新聞出版【編著】，朝日新聞出版，760/イ/

『これから学ぶスポーツ心理学 改訂版』荒木雅信【編著】，大修館書店，780/ア/



【8類】語 学

『外国語を話せるようになるしくみ』門田修平【著】，SBクリエイティブ，801/カ/

『英語感覚が理屈でわかる読むための英文法』久保聖一【著】，ベレ出版，835/ク/

『イメージで比べてわかる前置詞使い分けBOOK』

すずきひろし【著】，ミツイ直子【著】，ベレ出版，835/ス/

「みえない人がみる」世界を知る絵本。

伊藤亜紗著『目の見えない人は世界を

どう見ているのか』も読んでみよう。



【9類】文 学

〈日本文学〉



『宮沢賢治の元素図鑑』桜井弘【著】，化学同人，910/サ/

『あの本の主人公と歩く東京物語散歩100』堀越正光【著】，ぺりかん社，910/ホ/

〈日本文学：小説・物語〉

『下町ロケット 3 ゴースト』池井戸潤【著】，小学館，913/イ/

『オレは、センセーなんかじゃない！』

おかざきさとこ【著】，くじょう【画】，学研プラス，913/オ/

『歪んだ波紋』塩田武士【著】，講談社，913/シ/

☆『100年の木の下で』杉本りえ【著】，佐竹美保【画】，ポプラ社，913/ス/

『ブロードキャスト』湊かなえ【著】，KADOKAWA，913/ミ/

『静かに、ねえ、静かに』本谷有希子【著】，講談社，913/モ/



「やれば何でもできる」が、今は「自室にこもってチャンスを待っている」オレが、保育園で働くハメに！保育系志望者もそうでない人もぜひどうぞ。

〈日本文学：評論・エッセイ・随筆〉

★『人間にとって成熟とは何か』曾野綾子【著】，幻冬舎，914/ソ/

★『人間はいろいろな問題についてどう考えていけば良いのか』

森博嗣【著】，新潮社，914/モ/

★『「自分」の壁』養老孟司【著】，新潮社，914/ヨ/

〈英米文学：小説・物語〉

☆『キツネのパックス：愛をさがして』

サラ・ペニーパッカー【著】，ジョン・クラッセン【画】，佐藤見果夢【訳】，評論社，933/ハ/

☆『ヒトラーと暮らした少年』ジョン・ボイン【著】，原田勝【訳】，あすなろ書房，933/ホ/



「読書の王道は現代の古老が語る
「ありがたい人生訓」である
(斎藤美奈子著『趣味は読書。』より)